

酸素富化燃焼のご提案

溶解炉や焼成炉では、一般的に燃料を空気で燃焼させております。導入する空気には燃焼にまったく寄与しない窒素ガス（燃焼ガスの約70%）が含まれており、熱を吸収し、そのまま排気されます。

酸素富化を行うことで、燃焼に寄与しない窒素を減らすことができ、窒素による熱の持ち出しが少なくなり、燃焼により発生した熱が加熱・溶解されるべき材料に有効に消費されるようになります。

イワタニはお客様の炉や対象物にあわせた最適の酸素富化をご提案いたします。

< 特 長 >

1. 生産速度アップ

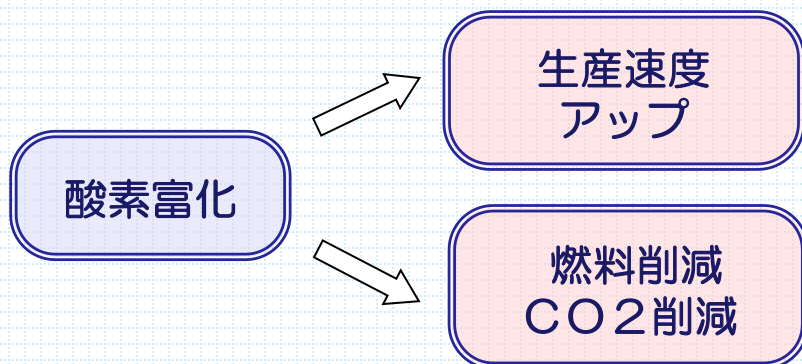
燃焼に寄与しない窒素ガスによって占められていた炉内スペースが減り、燃料を多く吹きめるようになり、生産速度をアップすることが可能となります。

2. 燃料削減（CO₂排出削減）

燃焼に寄与せず熱を吸収して排気される窒素ガスを減らすことで、無駄な熱の持ち出しがなくなり、燃料（CO₂の排出量）を削減することが可能となります。

	燃料	総酸素量	空気量	排ガス量	生産性
①	→	→	→	→	10%アップ
②	→	→	→	→	20%アップ
③	→	→	→	→	25%アップ

- ①燃料の量を変えずに酸素富化によって空気量を減らす。
- ②排ガス量が一定になるように酸素、燃料ともに増やす。
- ③空気の量は変えずに、燃料、酸素ともに増やす。



Iwatani

岩谷産業株式会社
エアガス部

〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4
Tel) 06-7637-3278 Fax) 06-7637-3307